

ご自由にお持ち帰りください

TAKE FREE

¥0

石川のスポーツ応援マガジン #27

GO-SPO

【特集】床に座れば、みんなが仲間！
座位バレーボールクラブ
「石川あいあい」

18年ぶりの全国制覇！
津幡高校なぎなた部

七尾市の子どもたちに聞いた！
ぼく・わたしの夢

【掲載コラム】部活動はどこへ
部活動の意義と課題

する人、観る人、支える人を、応援する。
金沢文化スポーツコミッション

第42回石川県ジュニアサッカー大会
元日本代表佐藤寿人さんサッカークリニック

金沢大学と輪島高校が連携
「健康づくりのひろば」でヘルスケア

私達と一緒にイベントを
作ってみませんか!!

ホクスイでは設営、商品レンタルなど
イベントに関わる仕事をしています。

イベントならホクスイ

正社員・アルバイト 募集中!!

お気軽にご連絡ください

ウェブサイト



Event Produce

ホクスイ

〒921-8001

石川県金沢市高島3丁目259

☎ (076) 291-2725 (代)

✉ hokusui@nsknet.or.jp

フリーマガジン (無料)
ご自由にお持ち帰りください

GO-SPO

Vol.27 発行日2026年9月1日 発行 株式会社ワン・オール

CONTENTS

GO-SPO No.27

- 2 【特集】 座位バレーボールクラブ「石川あいあい」
床に座れば、みんなが仲間！
- 6 津幡高校なぎなた部 18年ぶりの全国制覇！
【速報】7人でつかんだ日本一！
- 8 「スポーツ×地域×教育～挑戦する人が育つまちとは？～」
FC今治高校里山校 出張説明会 in 金沢 パネルディスカッション
- 10 金沢文化スポーツコミッション
する人、観る人、支える人を、応援する。
- 12 元日本代表佐藤寿人さんサッカークリニック
第42回石川県ジュニアサッカー大会
- 14 「健康づくりのひろば」でヘルスケア
金沢大学と輪島高校が連携
- 16 ぼく・わたしの夢
七尾市の子どもたちに聞いた！
- 18 部活動はどこへ
部活動の意義と課題

金沢 ゆめのゆ



〒920-0346 金沢市藤江南 3-26 TEL 076-204-5489

金沢西インターから車で5分！
「ゆめのゆ」の看板が目印！



県下最大級のラウンジ湯やサウナ、
露天風呂などが大人気！

Spo-An
For Fun Sports & Cultural Activities

スポーツ／文化活動／ボランティア活動

スポーツ安全保険

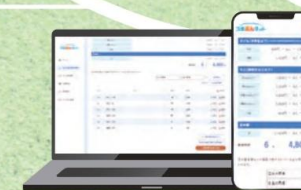
小さな掛金で充実補償



熱中症も対象



ネットで簡単手続き



スポあんネット
インターネットでかんたん加入

団体活動のための総合補償

#スポーツチーム #大学クラブ #スポーツ少年団 #放課後事業
#総合型地域スポーツクラブ #教室 #部活動地域移行 #文化系サークル #ボランティア

保険の詳しい内容、
資料の請求は、
ホームページを
ご覧ください。



[引]受幹事保険会社
東京海上日動火災保険株式会社

[共同引受保険会社 (2025年4月予定)]
あいおいニッセイ同和／共栄火災／損保ジャパン／大同火災／
東京海上日動／日新火災／三井住友海上／AIG損保

公益財団法人スポーツ安全協会

<https://www.sportsanzen.org>

令和7年1月作成 24TC-005947

員で自身も長くバレーボールに打ち込んだ。教員時代には、野々市明倫高校や金沢桜丘高校などでバレーボール部の顧問を務めてきた。金沢桜丘高校では、赴任して2カ月でチームを北信越大会出場に導いた実績もある。

座位バレーボールとの出会いは、定年退職後に訪れた兵庫県での西日本大会だった。コート上では、健常者とパリンピック日本代表選手らが一緒にプレーしていた。

「試合を見ていて、誰に障害があつて、誰にないのか分からなかつたんです」と橋本さん。試合が終わると、選手たちがエンドラインに並んだ。立っている人、車椅子を使う人、片足に障害のある人……。しかし、試合中は皆が同じようにボールを追っていた。「この競技には、バレーボールの面白さが全部入っている、と直感で思いました」

その後、橋本さんは女子日本代表の合宿を訪ねた。そこで直感確信に変わった。日本代表の真野嘉久監督に、「石川県でも座位バレーボールをやりたい」と伝えると、「やればいい」と背中を押され、当時北陸3県にはなかつたチームづくりを決意。



試合球は公認5号球だが、この日はまず風船を使ってパスをつなぐ練習から。「バレーボールはコミュニケーションが大事。しっかり声を出して！」と橋本さんの声が飛ぶ。座位バレーボールは年齢や性別、経験、障害の有無を問わず楽しめる。

教え子やバレーボール仲間へ声をかけ、「石川あいあい」を立ち上げた。専用のネットや支柱は自費で揃え、集まった18人で、2016年10月に最初の練習を行った。

「あいあい」には「相互の愛」「調和」「親和」という思いを込めた。

小松を拠点にした新チームが誕生

「石川あいあい」が発足して10年。現在は10代から70代まで、初心者や経験者、元日本代表選手など、障がいのある無に関わらず、多様なメンバーが登録している。

「誰もが座位バレーボールに接することができるようになりたい。必要としている人が、このスポーツに出あえる環境をつくりたいんです。チームがいくつかできれば、県内で試合もできますから」

橋本さんの思いは、新たな縁につながる。きっかけは、昨年「小松中央ライオンズクラブ（LC）」の会長を務めていた小西勝士さんとの出会いだ。同クラブは長年、地域のママさんバレーを支援してきた。バラスポーツの支援活動を考えていた小西さんは、石川県バラスポーツ協会を通じて

右から、「石川あいあい」キャプテンの牧野智恵さん、代表の橋本由起枝さん、コーチの小澤悠祐さん、副キャプテン・木村梢さん。牧野さん、木村さんは橋本さんが高校教員時代の教え子だ



【特集】 床に座れば、みんなが仲間！ 座位バレーボールクラブ 「石川あいあい」

障害のある人もない人も、床に座り、ともにボールを追ひ、仲間とつなぐ座位バレーボール。2016年、北陸3県で初めて誕生した「石川あいあい」の活動は、多くの人との出会いを生み、いま小松での新チーム結成へと広がっている。ボールがつなぐ温かなインクルーシブの現場を追った。

※国際名称はSitting Volleyballで、国内でも「シッティングバレーボール」の呼び方が長年親しまれてきたが、2024年10月7日に日本パラバレーボール協会（JPVA）によって「座位バレーボール」に統一・変更された。

ボールがつなぐ新しい仲間の輪

「今日のテーマは、『声を出す』でいいよ。オウケー？」

小松サン・アビリティーズの体育館に、座位バレーボールクラブ「石川あいあい」代表の橋本由起枝さんの声が響く。

床に座ったメンバーが輪になり、風船バレーでのパスまわし。ふわりと浮いた風船を、近くの誰かが身体を伸ばし、受ける。

「うまくつながれば『できたね！』。届かなければ『がんばれ！』と。コミュニケーションを取ることは、すごく大事なんです」（橋本さん）

この日、集まったのは、座位バレーボールチーム「石川あいあい」のメンバーと、この日を立ち上げ記念日とした小松の新チーム「小松Swarossa（「マツ・デ・スワロッサ」）の仲間たちだ。

座位バレーボール（※）は、パリンピックの正式種目。臀部の一部を床につけてプレーすることや、サーブブロックができるなどの違いはあるが、基本的なルールは一般的なバレーボールとほぼ変わらない。国際大会では、コートに入る6人全員



ナイスプレーには拍手、タッチが自然とうまれる

に障害があることが定められているが、国内では障害のある人となない人が一緒にプレーする大会もあり、健常者だけで参加できる大会もある。「立っている人は座る。車椅子に乗っている人は降りて、身ひとつでプレーする。健常者も障害者も同じ条件で、ボールをつなぐ。懐の深い、垣根のない、本当にインクルーシブなスポーツだと思っています」（橋本さん）

誰に障害があるのかわからなかつた

「石川あいあい」は北陸3県で初となる座位バレーボールクラブチームだ。代表の橋本さんは、元高校の体育教



小松中央LCの小西勝士さん

橋本さんを紹介された。「当初は、座

位バレーボールのことも知らなかつたです。でも、橋本さんの熱意に触れて、まずはこの人を応援したいと思

いましたと小西さんは振り返る。

昨年10月には、「小松中央LC」主催、「石川あいあい」主管で座位バ

レーボール大会を開催。地元のママさんバレー選抜チーム、小松大谷高校バレー部のほか、県外チーム、日本代表選手らが集まった。

大会をきつかけに、小松でもチームづくりが始まった。今年11月22日に開催予定の「Swarossa CUP」に向け、新たに誕生したのが「小松de Swarossa」だ。

『このまちで、共に座る文化を』を合言葉に、障害の有無を超えて誰もが一緒に楽しめる座位バレーボールを、小松に根付かせていきたい」と小西さんは語り、次のように続ける。

スポーツの力を信じている

「橋本先生は、昔から全然変わらな

いです」
そう笑うのは、野々市明倫高校バレーボール部の一期生で、現在は「石川あいあい」のキャプテンを務める牧野智恵さんだ。「ボールを持ったら、めっちゃ熱血。卒業して何十年もたつのに、今でも、高校生の頃と変わらず、激が飛んできます（笑）」

「石川あいあい」には、橋本さんの教え子も多い。仕事や子育てで忙しくなり、一度離れる人もいる。また戻ってくる人もいる。

「楽しいから続けられるんだと思い

「橋本さんがいたから、人の縁が繋がった。新チームは、地域に根差した市民チームとして活動し、小松中央LCはその定着を支援していきたいですね。小松に灯していただいたこの灯を、このまちに根付かせたい。石川あいあいと小松の仲間が、全国のチームと一緒にプレーできる場所に育てていきたいです」

待っていた、新しい仲間

「羽生斗くん、もう一回いくよー」

橋本さんの声に、この日、練習に参加していた森田羽生斗（ふうと）くん（安宅小5年）は、体勢を整え、もう一度ボールに挑む。羽生斗くんは二分育椎症で下肢に麻痺があり、普段は車椅子を使っている。

座位バレーボールを始めたのは昨年12月。マさんバレーをしている知人経由で競技のことを聞いた母・美和さんと一緒に、練習会を訪れた。「自分で歩くことができないので、身体を動かす機会がなかなかなくて。運動をしてほしいという思いもありました」

そう美和さんは振り返る。現在は月2回、練習会に参加している。

ます。立位のバレーボールとは全然違う。難しい分、うまくいったときはすごく嬉しいですよ（牧野さん）

チームの目標を訊くと「毎年夏に出ている全国大会でまだ勝つたことがないので、まず全国で一勝したい」。

バレーボールが好きだから、続けてきた、と橋本さんは言う。

「座位バレーボールも、バレーボールの一つ。バレーボールの面白さ、素晴らしさをもっと多くの人に届けたい、というのが一番です」

さらに続ける言葉に熱がこもる。「スポーツの力を信じているんです。障害があるなしの垣根を取り払って楽しめることを、座位バレーボールを通して伝えていきたいですね」

床に座れば、みんなが仲間。
石川あいあいから小松へ。そして、その先へ……。橋本さんがつないできた座位バレーボールの輪は、さらに新しい仲間へと広がっていく。●

羽生斗くんが座位バレーボールを始めたばかりの頃は、ボールを手の上を支えることが難しく、バランスを崩して倒れることもあったという。それでも続けるうちに、少しずつできることが増えていった。「最初は（オーバーパスで）ボールを飛ばすのが難しかった。でも、続けていたら、いつの間にかできるようになりました」。そう話す羽生斗くん。今では、「サーブ、得意です」と笑顔を見せる。座位バレーボールを始めて9カ月。母の美和さんは「姿勢が良くなったように感じます。筋力がついたのかな」と語る。

普段の練習では、風船や小学生が授業で使うビニール製のボールで練習することが多いが、「硬いボールで



「石川あいあい」監督の橋本さん（左）と下半身に麻痺がある森田羽生斗くん（小5・写真右）。中央は母の美和さん。

相手から来たボールをトスしたり、試合にも出てみたい」と意欲的だ。そんな羽生斗くんは、「座位バレーの好きなところは？」と訊くと、「みんなでやるから楽しい。一人でやるより、みんなでワイワイやるのが楽しいです」。

橋本さんにとって、羽生斗くんとの出会いは、待ち続けていた出会いでもあった。「障害があっても、スポーツで輝ける場は必ずある。このスポーツを必要としている人はきっといると思うんです。誰もが希望と勇気を持てる座位バレーボールの魅力を、一緒に汗を流しながら感じ、広げていきたい。こうして続けていけば、ここで一步を踏み出す仲間が、きつとまた来てくれる。その出会いを、わくわくしながら待っています」。



昨年の大会の様子

【取材後記】「一緒にやってみるか？」。橋本さんから言われ、練習最後のゲームに筆者も参加させてもらった。以前、遊びでソフトバレーをしていたので、何とかかなるかなと思ったが、まず座った姿勢で動くのが難しい。見よう見まねでボールを追う。下半身の反動が使えないので、サーブも思うように届かない。特別にラインより前から打たせてもらったが、それでもなかなか入らなかった。そんな中でも「ナイス！」という声やタッチに励まされ、短い時間だったが楽しくプレーできた。座った状態だとお互いの距離が近く感じる。年齢や性別、障害の有無、経験の違いに関係なく同じ目線で楽しめる——そんな座位バレーボールの魅力に少し触れられた気がした。（取材／松田）

座位バレーボール Swarossa CUP 参加チーム大募集！！

- ◆日時：11月22日（日）8:45～16:30
- ◆会場：小松サン・アビリティーズ
- ◆参加費：無料
- ◆問合せ・申込みは以下へ
◇小松中央ライオンズクラブ事務局
Tel 0761-21-5445
◇座位バレーボールクラブ
「石川あいあい」代表・橋本由起枝
Tel 090-9449-4904



練習・体験会のみOK！
障がいのある方も
ない方も
ご家族・お友達もぜひ
申込みはこちらから



ビニールボールを使ったゲーム。羽生斗くんも安定したサーブを何本も決めていた



主将としてチームをけん引した落合さん(右)

「はどちらなのか、その試合を見せ
てほしい」と。メンバーにも、みんな
整はせず、インターハイ当日までう
まくなる意識で練習を重ねました。
試合に出るのは5人ですが、登録メ
ンバーは7人。うちは全員合わせて
ちょうど7人。1年生の2人は今回、
試合には出ていませんが、競技以外
のところで大きく貢献してくれまし
た。7人全員で戦った大会でしたね。
特に、この数カ月でぐっと力が伸び
たと感じたのは、3年生の西野(友
来)。これまでは落合が攻めて、あと
のメンバーがつかなく試合展開でした

「選手たちに伝えてきたことは？
松田… 何度も選手たちに伝えてきた
のは、なぎなたは、いくらチームメイ
トと仲が良くても、最後にコートで
戦うときは一人だということ。みん
なで力を合わせてプレーすることは
できない。だからこそ、一人ひとりが
自分の役割を全うし、次の選手につ
なぐ。それがチームワークだと伝え
てきました。今回のチームは、最後の
舞台で本当の意味でのチームワーク
を発揮してくれたと感じています。」



18年ぶりの日本一！今の3年生が生まれた年
以来の全国優勝。

「実際の試合はどうでしたか。
松田… 団体戦で大きな目標にしてい
たのが佐賀東高校。昨年のインター
ハイ、春の選抜大会でも団体優勝し
ている強いチームです。準決勝まで
勝ち上がれば当たることになってい
た。落合は春の選抜大会で優勝して
いますが、佐賀東の坂田はなみさん
は今回の個人戦で優勝。「本当の日本
一はどちらなのか、その試合を見せ
てほしい」と。メンバーにも、みんな

「よく試合をしてほしい」と伝えま
した。落合自身も「このチームで1
試合でも多く試合をしたい」と言っ
ていました。

でそこまでつないでほしいと伝えま
した。そうしたら、本当にその展開
になった。
代表者戦はレベルが高く、どちらに
転んでもおかしくない、緊張感のあ
る試合でした。お互いがしっかりと
攻め、打突や技を出し合っていた。結
果は2対1の判定で落合の勝利。僕
個人としては、今回は「いけるんじや
ないか」と感じていたので、試合後半
は落ち着いて声をかけていました。

7人全員で戦った試合

「当日に向けてのチームの状況はど
うだったのでしょうか。」

松田… 大きな怪我もなく、全員が一
番良い状態で大会に挑めました。調



(前列右から)3年の西野さん、落合さん、2年生の能戸心暖さん、(後列右から)松田教諭、1年生の杉本柚芭さん、2年生の松村優里歩さん、寺田みゆさん、1年生の古賀悠里香さん

2026年8月10〜12日、奈良県・ロートアリーナ奈良で行われた令和八年
度全国高校総体以下、インターハイなぎなた競技にて、津幡高校が団体優勝を
果たした。個人・団体の二冠を目指した主将の落合結咲さんは、個人ではベスト
16で敗退。悔しさを抱えて臨んだ団体戦では、準決勝で昨年覇者の佐賀東と対
戦。代表者戦で、落合さんが個人優勝の坂田はなみ選手に判定勝利。その後の決
勝では、津幡高校が神奈川大付を1-0で破り、18年ぶり2度目の日本一を決
めた。チームを率いた顧問の松田拓斗教諭に、大会を振り返ってもらった。

「このメンバーで日本一を目指す最後の大会」

「インターハイでの団体戦優勝、
おめでとうございます。個人試合で
は落合さんがベスト16で敗退。そ
の後、どう切り替えたのでしょうか。
松田教諭以下、松田… ありがたう
ございます。勝つことができてよかつ
たです。落合は今回、個人と団体の
「二冠」を目指していたので、その一
つが達成できなかったことで悔しさ
は大きかったと思います。負けた直
後は号泣でした。個人試合後、「みん
なの前では、最後までキャプテンら
しく引つ張ってくれるか」と話したら
、「はい」と。本人も団体戦に向けて、
気持ちは作っていたと思いますが、
個人試合のすぐ後に団体戦だったの
で、完全に切り替えるのは難しかつ
たと思います。1年間、落合がチーム
を引つ張ってきましたし、心理的な

が、西野の成長で、落合とダブルエー
スの感覚でインターハイに臨めたの
はチームとしても大きかったです。

「試合後のエピソードなどあれば
教えてください。」

松田… 優勝が決まったときは、全員
涙でした。印象に残ったのは、準決
勝でライバルとして戦った佐賀東の
選手たちが、「おめでとう」と声をか
けに来てくれたこと。佐賀東は個々
の力も、チームとしての戦力も高く、
優勝候補の筆頭でした。その選手た
ちが、敗れたあとに声をかけてくれ
た。やはり日本一を経験している
チームの選手たちだなと感じました。

「チームの次の目標は？」

松田… 3名の選手が国民スポーツ大
会に出場します。チームとしては1、
2年生主体の新チームがスタートし
たところです。まずは11月の新人
戦に向けてまた頑張っていきます。

「仲間と目標を果たせて良かった」

■落合結咲さん「コメント」

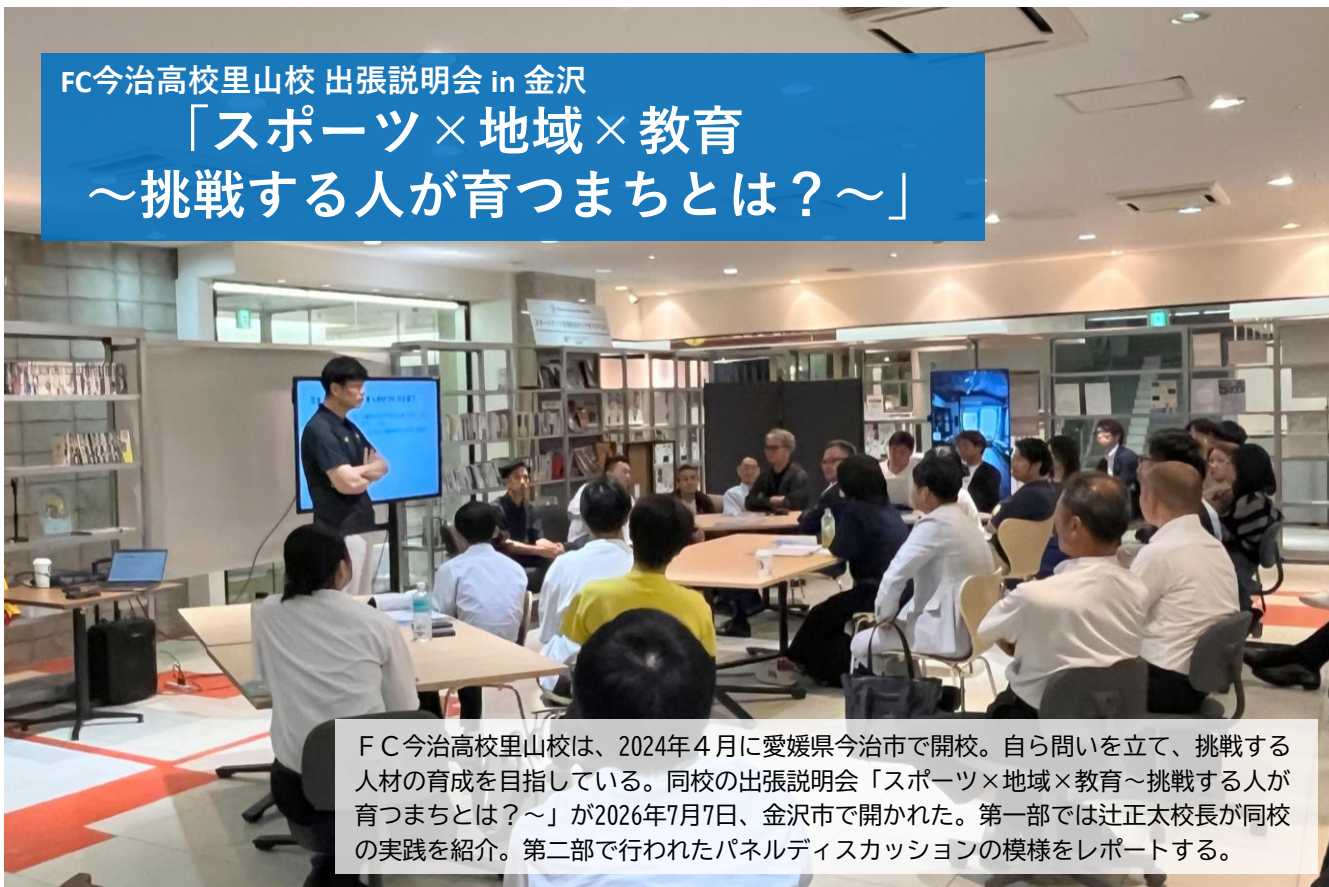
「優勝するための技術を身につける
練習だけでなく、優勝すべき人、心
援される人になるために日々の学校
生活での行動や発言を意識してきま
した。目標にできたインターハイ
団体優勝することができてとても嬉
しいです。これまでのみんなと積み
重ねてきた努力が今大会の結果に繋
がり、今の仲間と一緒に目標を果た
すことができて本当に良かったです」



団体戦に挑む選手たち



(写真左) モデレーターを務めた金沢サムライズ・パートナー事業部部長の東俊介さん。元ハンドボール日本代表主将、女子ハンドボール北國銀行ハニービーが日本ハンドボールリーグ10連覇を達成した当時の監督。(写真右) 左から、ツエーゲン金沢クラブキャプテン・廣井友信さん、この日の会場となったコミュニティ拠点「コワーキングスクエア金沢香林坊」の運営や「NOTO REBOOST U-23」などを手がける(株)絶対スクエア金沢香林坊の徳野新太郎さん、FC今治高校里山校長・(株)まちなかキャンパス代表の辻正太さん。



FC今治高校里山校は、2024年4月に愛媛県今治市で開校。自ら問いを立て、挑戦する人材の育成を目指している。同校の出張説明会「スポーツ×地域×教育～挑戦する人が育つまちとは?～」が2026年7月7日、金沢市で開かれた。第一部では辻正太校長が同校の実践を紹介。第二部で行われたパネルディスカッションの様態をレポートする。

会場となった金沢市のコワーキングスクエア金沢香林坊

廣井: スポーツは「エラー＆ラン」の最たるものだと思います。サッカーはミスの多いスポーツ。大切なのは、失敗しないことではなく、そこから何を学び、次にどう生かすか。38歳で現役を引退し、ビジネスの世界に入ったときは、知らないことばかりでした。人のやり方を見て、まよってみる。うまくいかなければ、また学んで挑戦する。起きた出来事から何を学ぶかが大切だと思っています。地域の中にも学びはたくさんある。地域の人や、学校では出会えない大人との関わりが、子どもたちの学びにつながります。

辻: FC今治高校里山校では、「共助のコミュニティのキャプテン」を育てたいと考えています。誰かを引っ張るだけのリーダーではなく、周囲の人と協力しながら、一緒に地域を変えていける人。その力は、読み書きや計算だけでは身につけません。人と関わり、実際にやってみる中で育っていくのだと思います。

東: 学校では、失敗を恐れる子は多いかもしれません。でも、最初から何でもできる人はいない。「できないのは当たり前」と考えることも大切。失敗しても、何もしなかった自分より、一歩踏み出した自分の方が経験は積み重なっていく。子どもた



FC今治里山校の実践を紹介する辻校長。2024年に開校し今年度が3年目。北陸三県からの入学者はまだいないという。

「スポーツ×地域×教育」をテーマにしたパネルディスカッションは、金沢サムライズのパートナー事業部部長・東俊介さんがモデレーターを務め、FC今治高校里山校の辻正太校長、ツエーゲン金沢クラブキャプテンの廣井友信さん、地域共創やプロジェクトづくりに取り組む(株)絶対スクエア金沢香林坊の徳野新太郎さんが、それぞれの立場から語り合った。

スポーツは、人を巻き込む力がある

東: 最初のテーマは、「地域×教育」にスポーツを掛け合わせる意味とは?。地域や教育というテーマも、スポーツを通じることで、より多くの人に身近に感じてもらうこともできません。

廣井: スポーツは、多くの人が関わるきっかけになると思います。ツエーゲン金沢では、小学校でサッカー教室を開き、挑戦することや、チームワーク、仲間への声かけなどを体験してもらっています。また、金沢星稜大学と連携し、年に一度、障がいのある方や誰もが試合観戦を楽しめるイベントを開催しています。学生さんたちが自ら考え、時間をかけて準備する中で、主体性やアイデアが生まれる。スポーツには、人を巻き込み、行動を促す力があると感じます。

ちが挑戦できる環境をどうつくるかが、これからますます重要になってくると感じます。

地方には、「挑戦」の余地がある

東: 人口減少や地域課題を抱える地方では、若者が挑戦する機会が少ないのではないかと、最初のきっかけをどうつくればいいのか、という質問が出ています。徳野さん、経営者の立場でどうですか。

徳野: 私自身は、挑戦する機会が少ないとは思っていません。むしろ機会ばかりだなと。例えば若い経営者であれば、挑戦する場はある。最初のきっかけは、まず自分からアクションを起こすことだと思います。

辻: 今治は、ある意味で余白しかありません。例えば、今は活気を失っ

辻: スポーツクラブが地域にあることで、人のつながりが生まれ、教育の可能性も広がります。FC今治は、多くの企業や地域の人たちに支えられており、そのつながりが学校の新しい学びにも生きていますね。

まずやってみて、失敗から学ぶ

東: FC今治高校里山校は、「スポーツをする人のための学校」というイメージを持たれたが、ちだと思いますが、実際はどうですか。

辻: 実際には、全然そんなことはありません。サッカーをまったくしない生徒もいますし、音楽やまちづくり、経営など、生徒の興味や探究のテーマもさまざまです。本校が掲げる「エラー・アンド・ラン」は、まずやってみて、失敗から学び、次に進むことを大切にしています。「マイプロジェクト」では、ビーチバレーに取り組み生徒が、学校に専用コートをつくらうと企画、クラウドファンディングにも挑戦しました。多くの人と関わる中で、生徒の視点は自分から社会へと広がっていきましたね。

東: 学びは、学校の中だけにあるものではないですね。今後は学び方そのものも変わっていくのではないのでしょうか。

ている商店街も見方を変えれば新しいことを始める余地がある。やりたいと思ったとき、場所や課題がある。ただ、情報を得ることが難しい場合もあるので、地域全体を巻き込んだ探究を進めたいと思っています。

東: 情報発信は大事ですね。また、すでに挑戦している人が身近にいることは大きいですね。「そこまでやっていいんだ」と思える成功例や、挑戦する大人との出会いが、一歩を踏み出す後押しになると思います。

辻: 同時に、挑戦した人が損をしない空気も大切です。失敗をからかったり、「出る杭は打たれる」という雰囲気があると、誰も挑戦しなくなる。うまくいってもいなくても、「やってみたい」ことを認める文化を意識してつくっています。

東: 今治の事例から学びながら、石川県でも、若い人たちが挑戦し一歩を踏み出せる環境をつくっていきたいと、あらためて感じました。今日はありがとうございました。●

FC今治高校里山校
HPはこちら
<https://fcihs-satoyama.ed.jp/>





7月18〜20日、「全日本パワースタッフティング選手権大会」第31回マスタートーズクラシック部門」がいしかわ総合スポーツセンターで開催されました。金沢文化スポーツコミッションでは毎年石川県立音楽堂を中心として開催される「ガルガンチュア音楽祭」出演者のみなさんに開会式での演奏を披露していただきました。京都金沢の音色が参加者のみなさんの心にも届く演奏となりました。

8月2日には「日本スポーツマスターズ2026石川大会記念事業ダンススポーツ競技大会」がいしかわ総合スポーツセンターサブアリーナで開催されました。金沢文化スポーツコミッションでは地元消防団のみなさんに伝統の技「加賀鳶梯子登り」をオープニングセレモニーで披露していただき、会場は大盛り上がりとなりました。

大会開催レポート



する人、観る人、支える人を、応援する。

金沢文化スポーツコミッション




加賀能登 戦国運動会



 今年

いしかわ小中学生
リフレッシュスポーツ祭

2026. **11.1** sun 9:30-15:00

**今年も子供も大人も
全員参加!!**

in
七尾

能登歴史公園(国分寺地区)芝生広場 (七尾市国分町1部1番地)

9・10月の開催予定大会

競技種目	大会名	開催日	会場
トランポリン	第54回西日本トランポリン競技選手権大会	9/4金-6日	いしかわ総合スポーツセンター
ソフトボール	第46回北信越レディースソフトボール大会	9/5土-6日	金沢市営専光寺ソフトボール場
サッカー	Feliz CUP U-10、U-12	9/5土-6日、12土-13日	北部公園多目的グラウンド
バレーボール	ママさんバレーボール「ゴールド」&「プラチナ」交流大会 in 金沢	9/26土-27日	金沢市総合体育館
陸上	北信越パラ陸上競技記録会	9/27日	石川県西部緑地公園陸上競技場
モルック	モルックふれあい金沢城2026	10/4日	金沢城新丸広場
ドッジボール	2026 J.D.B.A. 全日本総合選手権	10/4日	いしかわ総合スポーツセンター
吹奏楽	2026 第26回東日本学校吹奏楽大会	10/10土-11日	金沢歌劇座
バドミントン	令和8年度 文部科学大臣杯争奪 第77回全日本学生バドミントン選手権大会	10/16金-22木	いしかわ総合スポーツセンター
ゲートボール	文部科学大臣杯 第42回全日本ゲートボール選手権大会	10/17土-18日	西部緑地公園陸上競技場
サッカー	西日本08サッカー連盟中部地域2026北陸交流会	10/24土	金沢市スポーツ交流広場
ソフトボール	第3回百万石オープン女子小中学生選抜ソフトボール大会	10/24土-25日	専光寺ソフトボール場・北部公園

10月17、18日、「文部科学大臣杯 第42回全日本ゲートボール選手権大会」が西部緑地公園陸上競技場で開催されます。各都道府県から1チーム+前回大会優勝チームだけが参加できるゲートボール日本一を決める格式高い大会です。

その他にも「スポーツの秋」「芸術の秋」にふさわしく、多くの大会が金沢で開催されます。金沢文化スポーツコミッションでは様々なおもてなしをする予定です。お楽しみに🍁

9・10月の誘致大会



金沢文化スポーツコミッション
公式ホームページ

過去の大会、今後の大会などのイベント情報のほか、
スポーツ・文化にまつわる「STORY」、
金沢文化スポーツコミッションの取組などを紹介しています。



／スポーツのちからで能登を元気に／
被災した子どもたちの
スポーツにまつわる“夢”募集!!
《活動団体》スポーツのちからプロジェクト



石川県内小中学生と
保護者・付添いの方対象

・玉入れ・綱引き
・チャンバラ
3つの競技で競う
戦国運動会

能登福幸マルシェ



参加小中学生及び
保護者・付添の方全員に
1000円分
マルシェチケット
プレゼント!!

【申込受付中 10月2日まで】
金沢文化スポーツコミッション
ホームページから⇒⇒⇒⇒⇒⇒



■ 金沢市旅館ホテル協同組合のホームページ
「金沢」おもてなしの宿へは
こちらのQRコードから
www.yadotime.jp

金沢 | おもてなしの宿

合宿



Kanazawa
Ryokan & Hotel
Cooperative Association

金沢の観光スポットや
お天気などの情報を
発信しています

Instagram



JR金沢駅・鼓門のすぐ目の前

 **ガーデンホテル金沢**

スポーツ合宿・遠征のご相談はお気軽に



金沢駅そば

旅館しばや

金澤町家一棟貸し 英 Hanakusa





ゴールを奪うための技術を指導

石川県ジュニアサッカー大会決勝戦

大会決勝戦

クリニック後に行われた「石川県ジュニアサッカー大会U-12決勝戦」。佐藤さんはU-12決勝戦（SOLTILLO SEIRYOF C V S 符津スポーツ少年団）の解説を担当。熱戦となった決勝戦をテレビ解説した。決勝戦の様子は7月4日に石川テレビの特別番組として地上波で放送された。

最後までやり切ろう！

佐藤寿人さんが選手たちに強調していたポイントをいくつか紹介

- ジュニア時代はとにかくたくさんボールに触れよう！
- やってみること！失敗を恐れずにやること！
- シュートがGKに弾かれてもボールをよく見て最後までやり切ろう！
- 目線が下がっても間接視野で周りを観ることを意識しよう！



2026年6月14日、サッカー元日本代表 佐藤寿人さんによるサッカークリニックが開催された。第42回石川県ジュニアサッカー大会U-12決勝戦（松任総合運動公園陸上競技場）に先立って行われたクリニックには県内のU-12各クラブから選出された選手が参加。佐藤寿人さんの指導で選手たちはサッカーの魅力を体感した。

石川県の絆

佐藤寿人さんは「石川県には特別な思い入れがある」と語っている。現役引退後に自身が公認A級ジェネラルライセンスを取得する際、石川県七尾市の和倉温泉多目的グラウンドが講習会場となった。能登半島地震発生直前の2023年6月・9月・11月の3期に渡り長期滞在しながら受講。その際に一緒に切磋琢磨した受講生の中には石川県内や能登地方を拠点に活動する指導者も多く、のちの復興支援への強い動機となったそう。

復興支援イベント

佐藤寿人さんが参加した主な復興支援イベントを紹介

J-OBフットボールクリニック
(2024年3月)

石川県かほく市の屋内競技施設ジョイアークロスを佐藤寿人さんが「J-OBフットボールクリニック」を開催。かほく市の子どもたちだけでなく、大きな被害を受けた輪島市・珠洲市から避難・移動してきた子どもたちを招待し、サッカーを通じて全力でプレーする楽しさを共有した。

復興支援チャリティーマッチ
(2024年4月)

金沢ゴーゴースタジアムに元日本代表のレジェンドたちが集結して「復興応援チャリティーマッチ」を開催。佐藤寿人さん自身もピッチに立ち、元日本代表選手の宮本恒靖さん、中澤佑二さん、岡野雅行さんとともに、珠洲市や能登町などから招かれた被災地のサッカー少年・少女たちとの交流戦やふれあいイベントを行った。



復興支援チャリティーマッチ（2024年4月）



J-OBフットボールクリニック（2024年3月）

元日本代表 佐藤寿人さん

佐藤寿人さんは、サンフレッチェ広島などで活躍し、Jリーグ（J1・J2を合わせた）通算得点記録を持つ元日本代表FW。現在はJリーグ選手OB会（J-OB）の会長を務めながら元Jリーガーとともに全国各地でサッカー教室（J-OBクリニック）を開催、日本サッカーの発展に貢献している。佐藤さんは日本サッカー協会公認の「A級ジェネラルライセンス（旧A級指導者ライセンス）」を保有。近年は広島でサッカースクールを設立。その後、NPO法人化してジュニアユースチームを立ち上げるなど地域貢献にも取り組んでいる。



石川県ジュニアサッカー大会

石川県ジュニアサッカー大会

今年で42回目の開催となった「石川県ジュニアサッカー大会（若葉旗）」は石川県の多くのサッカー選手が経験。石川県出身のJリーガーやFリーガーの多くも出場経験がある歴史ある大会。U-12決勝戦は毎年、石川テレビで録画放送されている。



元日本代表 佐藤寿人さん

クリニックでは、佐藤寿人さんが選手に直接アドバイスを行いながら、シュート練習では選手に直接パスを出すなど、ゴールを目指す実践的な内容で選手にとって貴重な経験となったようだ。

■ストライカーのポジショニング

相手ディフェンダーの視野から外れる動きやクロスボールに対して一瞬でマークを外すステップワークなどを指導。

■シュートの再現性を高める意識

シュートの成功率（再現性）を上げる重要性を強調し、感覚や抽象的な表現ではなく「なぜそこに走るのか」「どう足を合わせるか」などを指導。

サッカークリニック

2026年6月14日、第42回石川県ジュニアサッカー大会U-12決勝戦の前にクリニックを開催。FIFAワールドカップ2026大会中だったこともありクリニックは大いに盛り上がった。

テーマは「**ゴールを奪うための思考と技術**」。ジュニア年代のフォワードや攻撃的選手に求められる具体的な動き方を指導。

今年で42回を迎えた「石川県ジュニアサッカー大会」は石川県のジュニア選手の多くが経験する大会。今年も石川県への思い入れが強い佐藤寿人さんがクリニックを開催してくれた。クリニックに参加した選手たちには貴重な経験となったことだろう。将来この選手たちの中から日本代表選手が育ってくれることを期待したい。（取材／大田 均）

佐藤寿人さんは2024年1月の能登半島地震発生後、被災地を元気づけるためのアクションをいち早く起こした。自身が会長を務める「一般社団法人Jリーグ選手OB会（J-OB）」から多くの元Jリーガーが石川県に駆けつけ、イベントを開催してくれた。（記事の後半で紹介）



交流メニュー
参加者は輪島高校の生徒たちと交流するために部屋を移動。身体をほぐす軽いストレッチや体操を通して運動不足や生活不活発による身体機能低下の予防に取り組む。ほかに高校生が考案した手先を動かす簡単なクラフト作業や小物づくりなどのレクリエーションを楽しんでいた。参加者は高校生との会話やレクリエーションを通して楽しみながら世代間交流を行い自然と心身が活性化されているように感じた。話を聞くと「顔馴染みのスタッフや高校生がいるので安心やわ」「ここにきて話をするのが楽しみねん」と笑顔で話していた。



「健康づくりのひろば」でヘルスケア
～金沢大学と輪島高校が連携～
2026年7月25日、輪島市マリントウン仮設団地の集会所で開催された「健康づくりのひろば」取材。この取り組みは金沢大学と輪島高校が連携して仮設住宅で生活する高齢者のみなさんの健康増進を目的に定期的開催している。教職員と生徒が手を取り合い仮設住宅で生活する高齢者のみなさんに健康支援を提供していた。

復旧復興が進む輪島
取材の前後に輪島市内を見学。復旧は確実に進んでいるように見えた。朝市通りは公費解体が進みほぼ更地になり復興への希望を感じることが多かった。輪島漁港の復旧工事も進んでおりに漁業復興に向けた確かな動きも感じることができた。これからという場所もまだ多いようだが順を追って復旧復興が進む風景に輪島市の未来への希望を感じる取材となった。



世代を超えて
高齢者と世代を超えて交流する輪島高校の生徒。会話を聞いていると距離感がとても近く感じる。家で祖母と孫が会話する自然なコミュニケーションが交わされていた。高齢者も高校生も同じ被災者で同じ地元の生活者だからだろうか。会場には優しい雰囲気漂っていた。高校生に聞くと「部活動は陸上競技をやっています」「僕も仮設住宅で生活しています」「正直この時期は暑くて狭い仮設での生活は苦労もありますが、同級生と一緒にここで高齢者のみなさんと交流する時間は大切な時間です」と話してくれた。高校生にとってここでの経験は将来につながる貴重な時間なのかも知れない。手作りが満載でとてもハートフルな交流だった。

健康づくりのひろば
「健康づくりのひろば」は、輪島市マリントウン仮設団地の集会所で開催されている。金沢大学の医薬保健研究域保健学系（表志津子教授、田中浩二教授ら）が主催し、輪島高校も連携被災住民の「健康管理」と「居場所づくり」を目的とした生活支援を提供。この取り組みは2024年8月から原則毎月第4土曜日に定期開催されている。内容は専門職による本格的なヘルスケアと高校生らによる交流メニューが組み合わさっておりコミュニケーションの場にもなっている。



仮設住宅全戸訪問
能登半島地震発生後、金沢大学は輪島市と連携して「仮設住宅の全戸訪問」の支援を実施。4カ月に渡って被災世帯の被災状況、生活状況、健康状態などの聞き取りを行った。この全戸訪問を踏まえて、仮設生活者の健康増進を目的にスタートした取り組みが「健康づくりのひろば」。いまでは金沢大学と輪島高校が連携して運営している。



金沢大学の関係者が定期的に被災者のヘルスケアに取り組み、輪島高校の生徒が高齢者と交流しながら健康面をサポートする活動に、災害を乗り越えていく地域の理想的なあり方を感じた。被災された高齢者へのヘルスケアの現場を見つめながら、これからも被災地を想う気持ちを持ち続けたいと改めて思われる取材となった。（取材／大田 均）



ヘルスケア活動
参加者はまず金沢大学の医師、保健師、看護師、理学療法士、作業療法士などの教員（多職種チーム）による「血圧測定」「筋力測定」など、その場で受けることができる。測定数値をもとに仮設生活における体調の変化、身体や心の悩み、生活の困りごとについて専門家に個別に相談することもできる。参加者に聞くと「測定数値は部屋に戻って前回の数値と比較して変化を確認して体調管理に役立てるとよ」「足湯マッサージも気持ちいいし」「何とんでもここに来ると友達に会えるし楽しいわ」と笑顔で話す。



取材の前後に輪島市内を見学。能登半島地震から2年半を経て復旧工事が進んでいた（記事の後半で紹介）。一方で被災者が心身のコンディションを維持する運動環境が失われた現実がここにはある。高齢者のみなさんが健康的な生活を送るための取り組みを金沢大学と輪島高校が提供してくれている現場を今回紹介。

石川県内の頑張る ジュニアに聞いた！

ぼく・わたしの夢

Q1.ぼく・わたしの夢は？
Q2.いま、頑張っていることは？
Q3.好きな選手は？



はなだ そうた
花田 蒼汰さん（11歳）

七尾ブルーエンジェルス 所属

- Q1 野球選手
- Q2 取るときにグローブを大切にしていけるようにしたい。そして、チームのみんなと協力して勝てるようになる。
- Q3 大谷選手

たかい りこ
高井 楓心さん（11歳）

田鶴浜クレーンズ 所属

- Q1 大工・か けんちく士
- Q2 学校の行事をがんばって取り組んでいる
- Q3 イホール選手（元カライズ選手）



なかにし えま
中西 笑真さん（9歳）

七尾能登島相撲クラブ 所属

- Q1 ほけん室の先生
- Q2 えいご
- Q3 わいませっき



かきだ まこと
垣田 真琴さん（11歳）

田鶴浜クレーンズ 所属

- Q1 建築士
- Q2 ディフェンスでめかれないこと
- Q3 ウィーリー店長（Southバスケッホーレ）



すぎはら そら
杉原 優空さん（9歳）

七尾能登島相撲クラブ 所属

- Q1 相撲の大会で優勝をあげることです。
- Q2 相撲のけいこをしています。
- Q3 大の里



せと ゆうご
瀬戸 優吾さん（8歳）

能登香島マリンスターズ 所属

- Q1 プロ野球選手
- Q2 バッティングと守備
- Q3 大谷翔平



和倉温泉運動公園

テニスコート

北陸最大級の24コート

練習試合や大会に最適！

高校生以下	一般
1時間 1コート 300円	1時間 1コート 600円

練習試合や大会に最適！！

ナイター設備有り	コインシャワールーム完備	全天候型	軟式も硬式も可能！	宿泊の手配もさせていただきます！
天候に左右されず快適にプレー可能！	軟式・硬式どちらのプレーにも対応！	合宿や遠征にも安心！お気軽にご相談ください。		

〒926-0171
石川県七尾市石崎町泉台2番地

電話番号 0767-62-0909

営業時間 6:00～21:00

「生徒、先生が目標を共有してがんばる部活動。わずか3年足らずという短期間にも関わらず、生徒の成長をはっきりと目で見て感じることができる『部活動』こそ教師の醍醐味です。小学校勤務を経て中学校の先生になった私にとっては、特にその素晴らしさを思います。かげがえのないたくさんの喜びをもらえました。」
これは、この4月に教育長から津幡町町長になられた吉田克也さんからいただいた言葉です。
そんな部活動が、終わろうとしています。
全国中学校体育大会も、来年度から縮小されていくことが決定しています。

3. 学校部活動の重要性

学校部活動は、体力や技能の向上を図るだけでなく、異年齢との交流を通じて、生徒同士や生徒と教員との人間関係を構築し、学習意欲や自己肯定感、責任感、連帯感を育むなど、学校という環境における生徒の自主的で多様な学びの場として、重要な教育的意義を持っています。

さらに、放課後の生徒の居場所としての役割や、生涯にわたって豊かにスポーツ・文化芸術活動に関わる基盤となるなど、幅広い意義を持っています。

こどもの視点	保護者の視点
○活動場所が学校 放課後すぐ学校内で興味がある活動に参加できます。 ○仲間づくりや人間関係の学び 同じ興味を持つ仲間と出会うことができます。 ○礼儀やあいさつなどマナーの学び 集団行動や規律を守ることで、相手を尊重する姿勢などが学べます。 ○チームワークの学び チームで協力することで、協調性やコミュニケーション能力が向上します。 ○忍耐力の向上 練習や活動を通じて、忍耐力が養われます。 ○責任感の向上 役割や責任を果たすことで、責任感が育ちます。 ○体力や技能の向上 体力、健康の維持向上や、知識、創造力が養われます。 ○自己肯定感の向上 成功体験が自己肯定感を高め、自信を持つことができます。 ○多様性の理解 色々な考え方を身につけと交流することで多様性を理解します。 ○放課後の居場所 安全安心な居場所があります。 ○生涯にわたる活動の基盤 生涯にわたるスポーツや文化芸術活動との豊かな関わり方を学べます。	○活動場所が学校 放課後そのまま活動できるため、安心感があり、送迎の負担が少ないです。 ○責任主体が学校（市） 安心してこどもを任せることができます。 ○費用が安く済む 民間のクラブチームやスクールと比較して負担が軽く済みます。
	教職員の視点
	○生徒との関係性を構築 共通の目標に向かって努力することによる信頼関係の構築やコミュニケーションの強化が可能になります。 ○指導力の向上 授業とは異なる状況や課題に直面するため、多様な指導方法を学び、適応力を高め、部活動の運営やチームのまとめ役を過してリーダーシップが磨かれます。

こどもの選択肢を増やします！

- 地域移行ではなく地域と連携して学校部活動を継続することで、こどもたちの安心感を守ります。
- 拠点校部活動を推進し、こどもたちの選択肢を増やします。(P11-12)
- こどものニーズ等に合わせてチャレンジクラブを創設します。(P13-14)

保護者の安心感を守ります！

- 地域移行ではなく地域と連携して学校部活動を継続することで、以下の安心感を維持します。
 - ・学校部活動の教育的意義を保持します。
 - ・損害賠償責任を熊本市が負います。
 - ・保険は現行どおり、スポーツ振興センターの災害共済給付制度を活用します。
 - ・公費負担等により受益者負担を抑え、体験格差が生じないように配慮します。(P21・22・24)
- 離れまたは近隣校での活動で、できるだけ近距離（自転車移動）で実施します。

教職員の負担を軽減します！

- 指導者を希望する者のみが指導を行います。(P15・17)

中学校教員による部活動従事
(R5教職員の勤務実態アンケートより)

従事時間：平均 6.9 分
従事負担感：6.0、7.7%

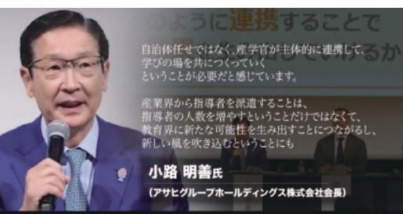
- 指導者のバックアップ体制を充実します (P18)
- 指導者に報酬を支払います。(P19)

地域や企業と積極的に連携します！

- 地域と学校が連携し、地域全体でこどもを見守ります。
- 地域人材の活躍の場を拡充します。(P15・17)
- 企業連携等による地域に支えられた活動を展開します。(P23)

〈各項目の具体的施策については、P10以降に記載〉

こどもたちは、地域とともに、多くの経験を与えてくれる部活動を通じて成長していきます！



た可能性を生み出すことにつながるし、新しい風を吹き込むということにもつながるのではないかと感じたところでございます。」と、語っておられました。

わたしは、ここに新たな視点を見つけました。

それでは、編集長からの提言です。

と書きたいところですが、そこまでのレベルには達しておりません。提案とも言えませんので、

編集長からの提起とさせていただきます。

■編集長からの提起①

「もう昔に戻ることはありません」

どうしても、過去の思い出が美しく蘇ってきますが、それを期待することは極力避けるべきだ考えます。

■編集長からの提起⑤

「企業にお願いします」

中学生のために時間を使う社員さんに、給与を払ってもらえませんか。できれば週に一日、地域の学校で過ごすことが、当たり前の自治体になれば、学校も大きく変わるはずです。それが、未来の新たな社会を創ります。

「マイルストーン」として、思い切って書かせてもらいました。次号に続きます。

「熊本市立中学校における
新しい学校部活動の在り方」
から、紹介しました。

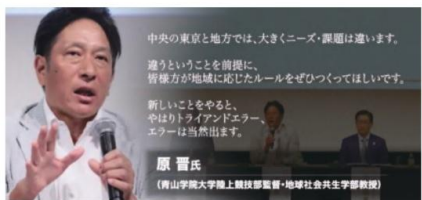
全国で、唯一ではないかと思われる、
文部科学省とスポーツ庁のめざす方向と
は完全に違う基本方針で、新プロジェクト
が着実に進められています。

地域移行ではなく、地域と連携して学
校部活動を継続すると宣言しています。

その是非を議論したいのではありません。
ただ、いろんなやりかたがあつてい
いのだ、ということを伝えたくて、あえ
て、冒頭に紹介しました。

「改革実行期間」が始まる現時点での進捗状況は、まさにバラバラな状況です。石川県内を見渡してみても、前回このコーナーで紹介したかほく市のように確実に、諸課題の解決に向けた様々な方策等が進められている自治体もあれば、今年に入って、やっと重い腰を動かし始めたという段階のところもあります。残念ながら、その格差が広がっています。ちょうど一年前に開催されたフォーラムを振り返ってみました。それぞれの方が、素晴らしい提言をなさっていました。アサヒグループホールディングス株式会社会長の小路明善氏は、

「自治体任せではなく、産学官が主体的



青い学院大学陸上競技部監督・地球社会共生学字部教授の原晋氏は、

「中央の東京と地方では、大きくニーズ・課題は違います。違っていることを前提に、皆様方が地域に応じたルールを、ぜひつくってほしいです。」

■編集長からの提起②
「スポーツは楽しいもの」
アスリートとして頂点をめざすことだけではなく、いろいろなことを楽しむところから始めます。

■編集長からの提起③
「ボランティアは美德ではありません」
時間を使い、家族との時間を削って、その上、無報酬で行うことは、あつてはならないことという共通認識を確立せねばなりません。

■編集長からの提起④

「活動の機会を保障すること」

経済格差を越えて、やりたいスポーツがやれる地域を創っていくために、大人がみんな取組みましょう。専門性も大切ですが、中学校の部活でやっていた、そんな大人に登場して欲しいです。

それでは、編集長からの提言です。

と書きたいところですが、そこまでのレベルには達しておりません。提案とも言えませんので、

編集長からの提起とさせてもらいます。

■編集長からの提起④

「活動の機会を保障すること」

経済格差を越えて、やりたいスポーツがやれる地域を創っていくために、大人がみんなで取組みましょう。専門性も大切ですが、中学校の部活でやっていた、そんな大人に登場して欲しいです。



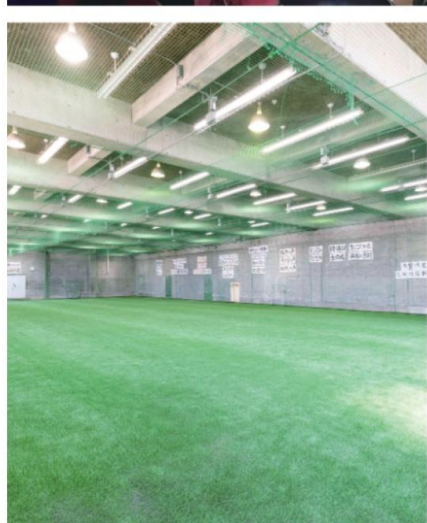
授業や部活動を通して
一生の仲間と出会う！



勉強やスポーツに全力で
打ち込むための環境！



“夢をかなえる”
を支え応援！
チカラ
君の主体性は
ここ
金沢で目覚める！



設置施設・店舗一覧

GO-SPO は県内の以下のお店・施設等で配布しております

■石川県全域

ゴーゴーカレー各店舗

■金沢市

株式会社アルプ
株式会社アルプトラベル
ゼビオ金沢
中安旅館
石川県青少年総合研修センター
天然温泉健康ランド ゆめのゆ
テルメ金沢
岡ホテル
チサンバジェット金沢駅前
金沢マンテンホテル駅前
金沢セントラルホテル
ホテルマイステイズ金沢キャッスル
ホテルマイステイズプレミア金沢
ホテルマイステイズ片町
鹿島屋旅館
ガーデンホテル金沢
いしかわ総合スポーツセンター
石川県立野球場
石川県立武道館
金沢文化スポーツコミッション
金沢市教育委員会
金沢市総合体育館
中央市民体育館
城南市民体育館
城東市民体育館
城北市民体育館
城西市民体育館
森本市民体育館
浅野川市民体育館
額谷ふれあい体育館
西部市民体育館
鳴和台市民体育館
城北市民テニスコート
東金沢スポーツ広場
西金沢テニスコート
大徳テニスコート
陸上競技場（弥生）
金沢市宮球技場
専光寺ソフトボール場
安原スポーツ広場
内川スポーツ広場
戸室スポーツ広場
市民野球場（磯部）
駅西むつみ体育館
金沢プール

■河北郡

津幡町文化会館シグナス
津幡運動公園 体育館
津幡町総合体育館
津幡町屋内温水プール「アザレア」
内灘町教育委員会
内灘町屋内多目的広場
内灘町屋内温水プール

■かほく市

クラブバレット
ELU
あそびの森かほく
イワイ家具
高松グラウンドゴルフ場
はーふたいむ
道の駅たかまつ
KITO
魚料理・民宿 やまじゅう
料亭・ビジネスホテル 河北亭
かほく市商工会ジョイアクロス
かほく市教育委員会
スポーツコミッションかほく

■羽咋市

ちりはまホテルゆ華
ビジネスホテル 羽音碧々
民宿 清水
料理旅館 大社庵
ハートランドヒルズ in 能登
羽咋市役所
羽咋体育館

■野々市市

満天の湯・道の宿
野々市市役所
野々市市民体育館
野々市スポーツランド

■白山市

ニュー松任ターミナルホテル
グランドホテル白山
ゼビオ イオンモール白山店
ゼビオ フェアモール松任店
ムラサキスポーツ イオンモール白山店
白山市教育委員会
松任総合運動公園 体育館
若宮公園体育館

■能美市

能美市教育委員会
まなび文化スポーツ課

■小松市

粟津温泉 喜多八
キャラバンサライ小松
小松市役所
小松市まちづくり市民財団
小松総合体育館
小松市武道館
小松ドーム
義経アリーナ
弁慶スタジアム

■加賀市

アビオシティ加賀
加賀市役所
加賀市スポーツセンター
加賀体育館

■七尾市

七尾市役所
ななお文化スポーツコミッション
道の駅 能登食祭市場
七尾市城山体育館
七尾総合市民体育館
七尾市中島体育館
七尾市能登島生涯学習センター
七尾市田鶴浜体育館
七尾市みなとふれあいスポーツセンター
ふれあいセンター山びこ荘
健康増進センターアスロン
七尾市内
各地区コミュニティセンター

■穴水町

穴水町教育委員会

■輪島市

輪島市教育委員会

■珠洲市

珠洲市教育委員会

■協会事務局

石川県スポーツ協会事務局
石川県障害者スポーツ協会事務局
金沢市スポーツ協会事務局
白山市スポーツ協会事務局
野々市市スポーツ協会事務局
（一社）津幡町スポーツ協会事務局

GO-SPO 広告主募集中！

石川県のスポーツと一緒に応援しませんか？

発行日 奇数月の1日発行（年6回）
発行部数 10,000部
配布先 石川県各市町の体育施設や各種店舗など

お問い合わせは、発行元の株式会社ワン・オールまで
メールでのお問い合わせは onespo@oneall2013.co.jpへ
公式LINEでもお問い合わせを受け付けております。



TEL:076-207-7974

広告掲載料金一覧

掲載面	サイズ	1回掲載料金（税込）
中面	1/4 ページ	¥16,500
	1/2 ページ	¥33,000
	1 ページ	¥66,000
	見開き2 ページ	¥110,000
表2	表紙裏	¥110,000
表3	裏表紙裏	¥110,000
表4	裏表紙	¥165,000



学校法人 金沢高等学校

〒921-8515 石川県金沢市泉本町3丁目111番地

TEL (076)242-3321 FAX(076)243-7231

ホ-ムペ-ジ <https://kanazawa-hs.jp>

